

AI
を
超
え
て

第38回 The 38th Annual Meeting of
Japanese Society of Ocular Oncology

日本眼腫瘍学会

プログラム・
講演抄録集

—— ハイブリッド開催 ——

会期 2021年 9月4日(土)・5日(日)

会場 九州大学医学部百年講堂 〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1

会長 吉川 洋 九州大学大学院医学研究院眼科学分野 特任講師



第38回 The 38th Annual Meeting of
Japanese Society of Ocular Oncology

日本眼腫瘍学会

プログラム・講演抄録集

AIを超えて

- 会期 ハイブリッド開催
現地開催・WEB配信：2021年9月4日(土)・5日(日)
オンデマンド配信：2021年9月10日(金)17時～21日(火)正午
※一部プログラムを除く
- 会場 九州大学医学部百年講堂
〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1
- 会長 吉川 洋
九州大学大学院医学研究院眼科学分野 特任講師
- 主催 日本眼腫瘍学会
- URL <http://www.congre.co.jp/js002020/>

第38回日本眼腫瘍学会事務局

事務局 九州大学大学院医学研究院眼科学分野
〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1
TEL: 092-642-5648 FAX: 092-642-5663

運営事務局 株式会社コングレ九州支社内
〒810-0001 福岡市中央区天神1-9-17-11F
TEL: 092-716-7116 FAX: 092-716-7143
E-mail: js002020@congre.co.jp

第38回日本眼腫瘍学会

会長挨拶

会長 吉川 洋 九州大学大学院
医学研究院眼科学分野 特任講師



皆様、第38回日本眼腫瘍学会に参加くださいますと有り難うございます。当学会は昨年2020年9月に開催する予定でしたが新型コロナウイルスの影響でこの会期となりました。昨年多くの学会がWeb開催になる中「この学会だけは！」と延期を決意しましたが、やはりWebの力は借りざるを得ない結果となりました。しかしこの1年で学会におけるWeb技術のありかたは発展、今回のような現地と全国を結ぶハイブリッド開催も可能になり、参加者もWeb参加に慣れ、「Webあればこそ」の楽しみ方や利点を享受できるようになったのではないのでしょうか。

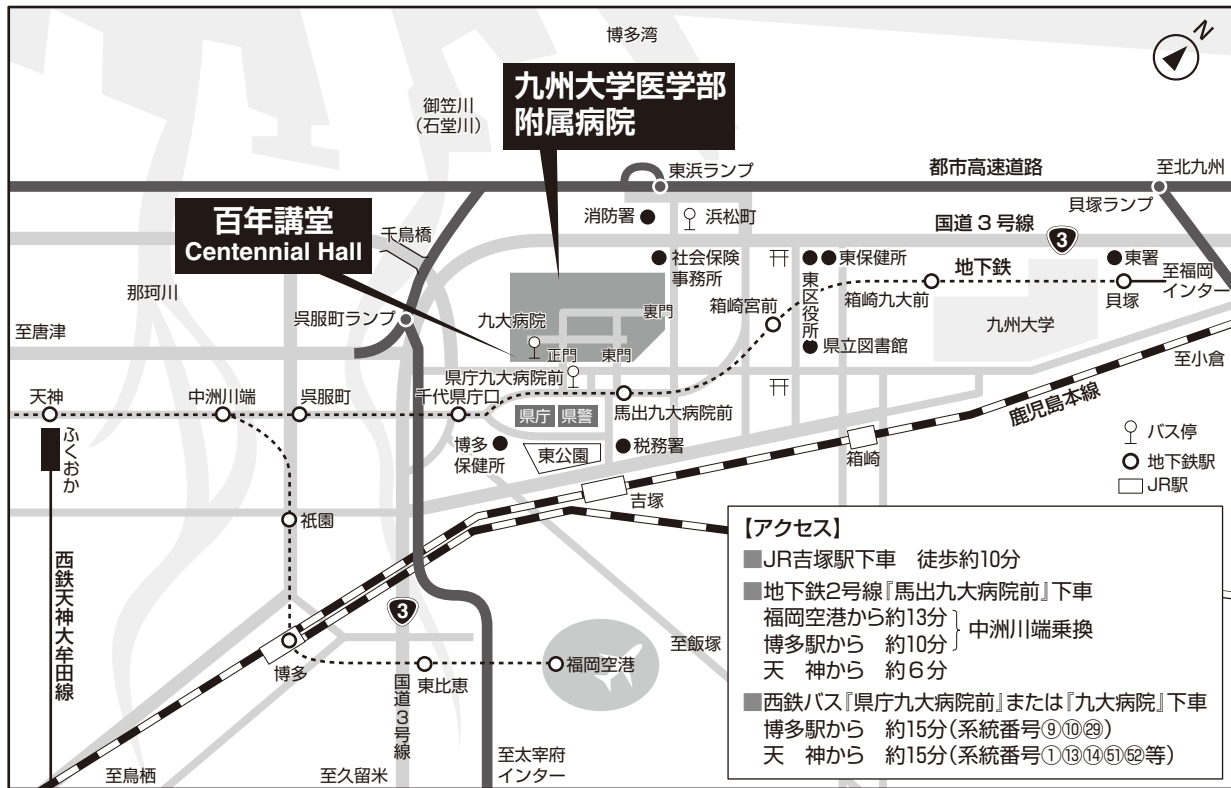
さて、今回の学会には「AIを超えて」というテーマを掲げて参りました。これはAIブーム到来感真っ盛りの2019年秋に決めたものです。当時、時代の移り変わりの速さをおそれて「超えて」をつけましたが、人工知能の医学への関与は2021年の現在も深まるばかりのようです。しかし、その多くが希少疾患、ときに不治の病である眼腫瘍の領域では、患者一人医師一人のつながりが非常に重要で、診断や治療方針決定への貢献著しいAIがその役目を果たせるようになるかは不明です。

経済、家族、ジェンダーの問題など複雑化する現代の世の中で私たち医師は、人工知能にできることはますますAIを活用し、その分、人にしかできない仕事をよりよく行っていかなければならないのではないかと思います。そう考えると、AIを「超える」というのは、時代が過ぎることでは無く、AIの「上に立って」仕事をする事であろうと思えてきます。

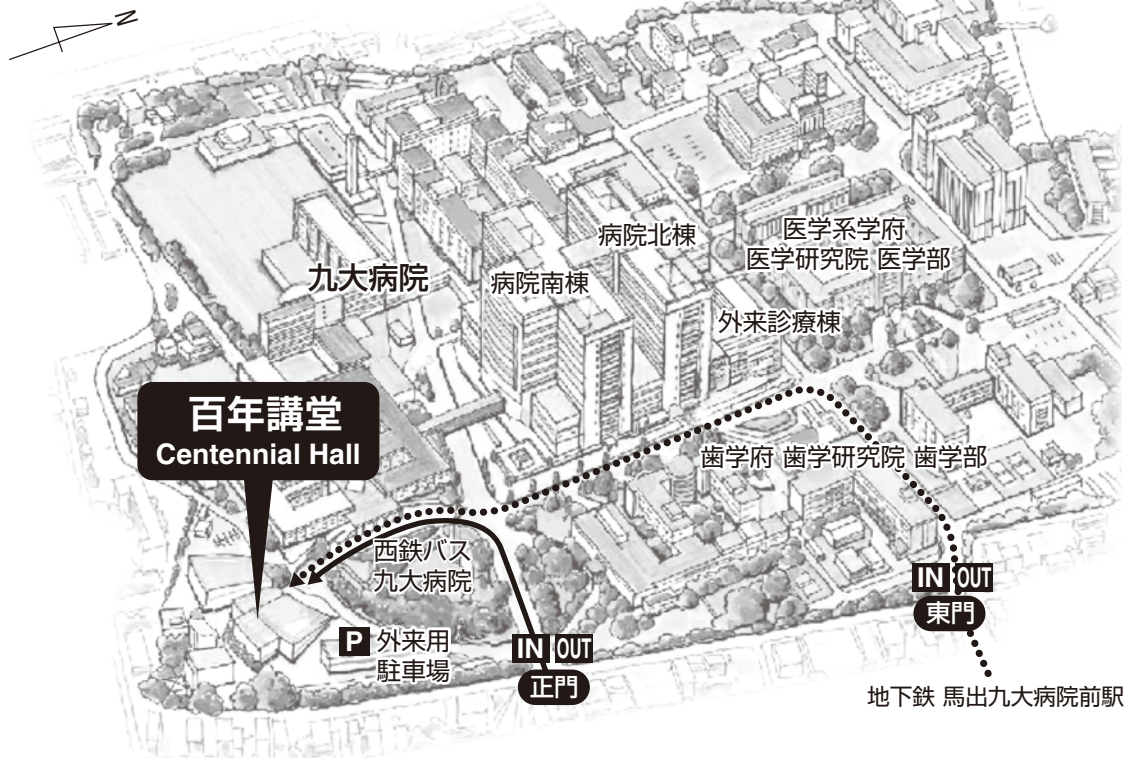
それはさておき、9月4～5日の2日間は、待ちに待った2年ぶりの眼腫瘍学会です。我々とともに現地で、また全国の各地と繋がって、いつものような熱い討論を思い切り楽しみましょう。そして、知識と経験を共有し、ますますAIにはできない我々の仕事に磨きをかけられたらと思います。

会場アクセス図

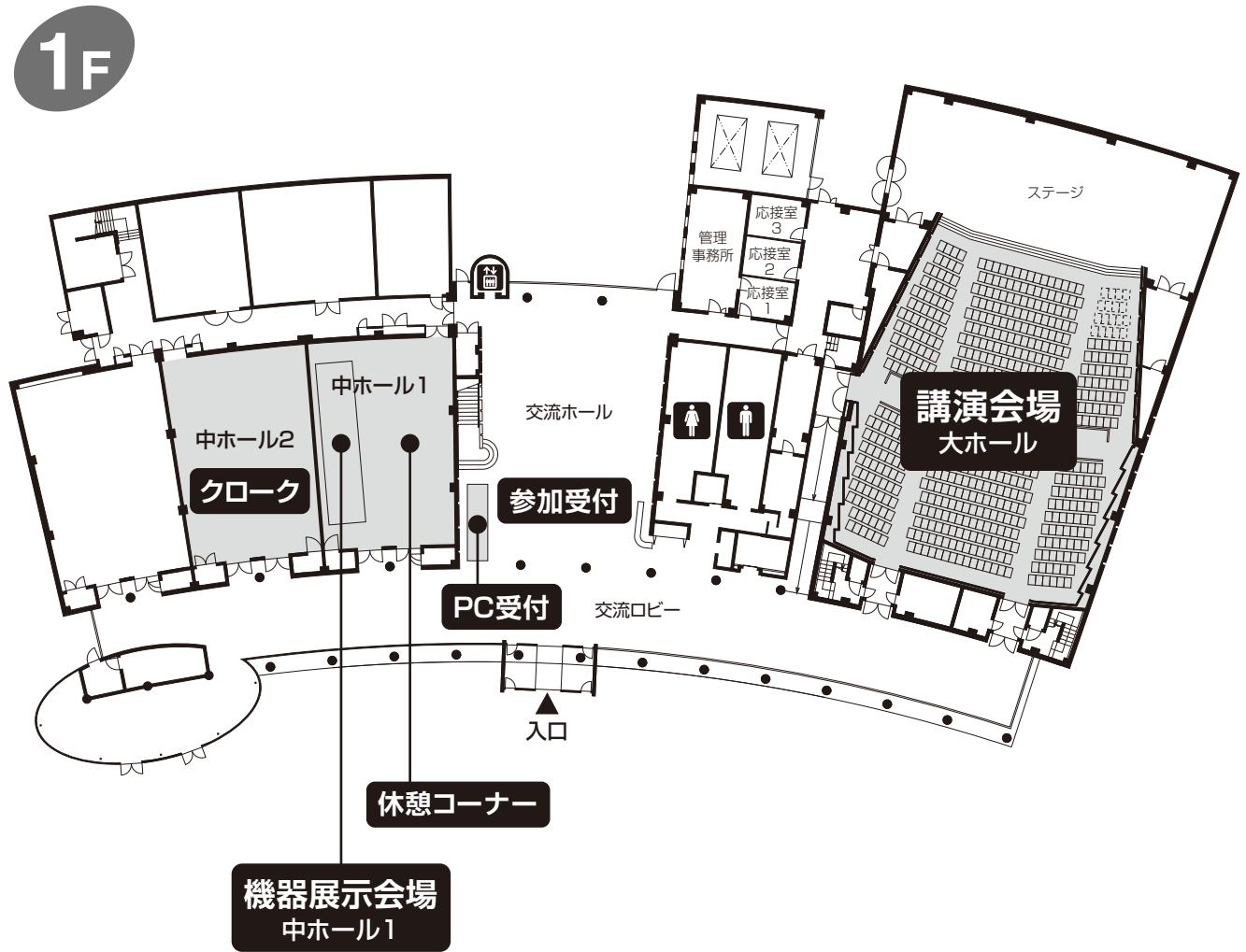
〈会場への交通〉



〈百年講堂 案内図〉



会場案内図



参加者へのご案内

会期・開催方法

現地開催およびWEB配信を併用したハイブリッド開催となります。全セッションをライブで配信します。

日 時：2021年9月4日（土）・5日（日）

現地会場：九州大学医学部百年講堂（〒812-8582 福岡市東区馬出3丁目1番1号）

WEB配信：本会ホームページに設置する「WEB会場」よりID・パスワードを入力のうえアクセスし視聴。

視聴にはご利用のPC、タブレットに、Zoomのダウンロードが必要です。

詳細は、本会ホームページをご覧ください。

オンデマンド配信：2021年9月10日（金）17時～9月21日（火）正午までを予定

※一部プログラムを除く

感染対策について（現地へお越しの方）

- ・発熱や咳などの症状がある場合や、健康に不安がある方はご来場をお控えください。
- ・参加受付の前に、手指のアルコール消毒及び検温にご協力をお願いいたします。
- ・新型コロナウイルス感染拡大予防対策のため、受付にて健康状態申告書のご記入、検温にご協力をお願いいたします。
- ※健康状態申告書：本会ホームページよりダウンロードのうえ、必要事項を記載してご持参ください。
- ・37.5度以上の方は入場をご遠慮いただく場合がございますので予めご了承ください。
- ・会場内ではマスクを着用のうえ、間隔を開けて着席ください。

受付方法

参加を希望される方は、必ず参加登録が必要となります。

〈事前参加登録をされた方〉 ※7月13日（火）正午締切

①当日会場にお越しになる場合

- ・会場での参加登録受付の必要はありません。
- ・事前に送付したネームカードを忘れずにご持参いただき、所属・氏名を記入のうえ、会期中は必ずご着用ください。
- ・ネームカードホルダーは受付周辺にご準備いたします。
- ・プログラム・講演抄録集を忘れずにご持参ください。追加でご希望の場合は、受付にて1部1,000円にて販売いたします。

②WEB上でご参加になる場合

事前に送付されたネームカード、プログラム・講演抄録集は、ご自身で保管をお願いします。

〈当日、現地で参加登録をされる方〉 ※9月4日（土）・5日（日）

当日参加登録受付

支払い方法：現金のみ（※クレジットカード決済不可）

受付場所：九州大学医学部百年講堂 1F 交流ホール

受付時間：9月4日（土）8:30～17:30

9月5日（日）8:15～12:30

※ネームカードをお渡ししますので所属、氏名をご記入のうえ、会期中は必ずご着用ください。

〈オンライン参加登録(当日料金)について〉

登録システムを8月中旬頃にオープン予定です。詳細は本会ホームページをご覧ください。

参加登録費

登録区分	当日参加登録費	事前参加登録費 ※締め切りました
会員医師	10,000 円	8,000 円
非会員医師	13,000 円	11,000 円
非医師・民間研究員	13,000 円	11,000 円
初期研修医・コメディカル、医師以外の大学院生	5,000 円	3,000 円
大学院生を除く学生(医学生、視能訓練士学生、留学生)	1,000 円	1,000 円

※会員登録は日本眼腫瘍学会ホームページからのみ受け付けております。

年会費(正会員)：5,000 円 *当日、会場での登録手続きはできません。

※初期研修医・コメディカルの方は所属長による身分の証明が、学生および医師以外の大学院生の方は学生証の提示が必要です。あらかじめ、ホームページより「登録区分証明書」をダウンロードしていただき、必要事項をご記入のうえご持参ください。

※上記以外の登録区分の方など、不明な点がございましたら、事務局までご連絡ください。

プログラム・講演抄録集

参加登録費に含まれます。また、本会ホームページより、パスワードを入力して閲覧・ダウンロードをしていただくことも可能です。【パスワード】：38js00

なお、別途必要な方は1冊1,000 円にて販売いたします(現地参加のみ)。

懇親会

本年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催はございません。

専門医制度単位受付(日本眼科学会生涯教育認定事業)：認定番号 59150

下記内容で取得できます。

日 程	現地参加	LIVE 配信視聴	オンデマンド配信視聴
9月4日(土)	3単位	3単位	2単位
9月5日(日)	2単位	2単位	1単位

〈当日現地で参加される方〉

バーコード対応での受付となりますので、日本眼科学会専門医制度登録証(カード)を必ずご持参ください。

単位受付の際、控えをお渡ししますのでお受け取りください。なお、当日は本会ネームカードをご提示いただきます。

受付場所：九州大学医学部百年講堂 1F 交流ホール

受付時間：9月4日(土) 8:30～17:30

9月5日(日) 8:15～12:30

〈当日 WEB 視聴される方〉

- ・各日程のプログラムを視聴する事がログにて確認出来た時点で、単位が付与されます。
- ・共催セミナーのライブ配信をご視聴いただいても、単位付与対象となりません。

〈オンデマンド配信を視聴される方〉

- ・オンデマンド開催期間(9月10日(金)17時～9月21日(火)正午)にご視聴いただくと、9月4日(土)・5日(日)のプログラム日程表に基づいて取得できます。
- ・オンデマンド配信の各日程のプログラムを1つでも視聴すると、その日程分の単位が付与されます。
※共催セミナーのオンデマンド配信のみをご視聴いただいても、単位付与対象ではございません。
- ・日程表に基づき、各日程のプログラムを1つ以上視聴すると単位が付与されます。
ただし、LIVE 配信での視聴とオンデマンド配信での視聴で取得単位数が異なります。
※すべての開催形態で参加されても、単位は重複して登録出来ませんのでご注意ください。
- ・現地参加はされず、LIVE 配信またはオンデマンド配信視聴のみで参加される場合は、視聴ログで確認させていただきます。
- ・視聴サイトにアクセスする際、専門医番号(日本眼科学会会員番号)のご入力もお願いします(専門医番号が未入力の場合は、単位付与が出来ませんのでご注意ください)。

優秀演題賞

一般口演の対象者から優秀賞を選出し、閉会式にて受賞者の発表・表彰を行います。

投票方法の詳細については、今後ホームページでご案内しますのでご覧ください。

表彰式・閉会式：9月5日(日)13:10～

共催セミナー

- ・モーニングセミナーでは軽食を、ランチョンセミナーではお弁当をご用意いたします。
- ・数に限りがございますので、あらかじめご了承ください。なお、整理券の配布はいたしません。
- ・各セミナーご入場の先着順に、軽食またはお弁当をお渡しいたします。

クローク

受付場所：九州大学医学部百年講堂 1F 中ホール2

受付時間：9月4日(土) 8:30～18:00

9月5日(日) 8:15～13:30

※お荷物は必ず開設時間内にお受け取りください。日をまたいでのお預かりはいたしませんのでご注意ください。

機器展示・休憩コーナー

受付場所：九州大学医学部百年講堂 1F 中ホール1

日 時：9月4日（土）9：30～17：30

9月5日（日）9：00～13：00

関連会議

日本眼腫瘍学会 理事会

会期中の開催はございません。

日本眼腫瘍学会 総会

日 時：9月4日（土）13：10～13：25

会 場：九州大学医学部百年講堂 1F 大ホール

駐車場

- ・会専用の駐車場のご用意はございません。参加者専用の駐車場はございません。
- ・受診用駐車場（有料）がございますが、駐車スペースには限りがありますので、出来るだけ公共交通機関をご利用頂けますようお願い致します。

その他

- ・著作権保護のため、現地参加・WEB 参加に関わらず、発表者や事務局の許可がない撮影・録音は一切禁止いたします。
- ・現地参加の場合、講演会場内では携帯電話、スマートフォンはマナーモードに切り替えるか、電源をお切りください。
- ・現地参加の場合、会場内では飲食不可です（共催セミナー開催時を除く）。飲食は中ホール1でお願いいたします。
- ・九州大学病院地区敷地内は全面禁煙（電子たばこを含む）です。

講演規定

利益相反に関して

今回の学会発表の内容に関する利益相反について、ホームページのサンプルを参考に発表時に2枚目(タイトルの次)のスライドにて開示してください。

著作権等に十分配慮のうえ、発表スライドを作成してください。

講演時間

- 一般口演の発表時間は、発表6分・質疑応答6分の計12分です。
- 特別講演、ランチョンセミナー、モーニングセミナーは指定された時間でお願いします。時間厳守をお願い致します。

発表データの事前提出(一般口演発表者の方へ)

事前に音声入りの発表データをご提出いただき、発表の際はそのデータを放映いたします。

発表以外の質疑等については、Web参加で当日ご対応ください。

発表データの形式・提出方法についてはHP/個別メールにてご案内いたします。

スライド作成における注意事項

スライドは参加者が容易に理解できるように作成してください。

[スライドの文字数]

1枚のスライドに多くの文字を配置する込み入ったスライドはお避けください。

[スライド提示時間と講演内容]

スライドに掲載されている内容を把握するのに十分な提示時間と講演内容のバランスに配慮してください。

[字詰まりスライドを避ける]

字詰まりスライドは判読が困難です。

[使用する色ならびに混合色への配慮]

1枚のスライドに多数の色を使用することは避けてください。背景色と文字とのコントラストが十分にあるものにしてください。

座長の方へ

座長受付はございません。担当セッション開始15分前までに、会場内右手前方の次座長席へご着席ください。

演者の方へ（当日会場で発表される場合）

〔データの受付〕

発表者は、講演開始の30分前までに必ず「PC 受付」にて受付をお済ませください。

事前に音声入りの発表データをお送りいただいている場合も、確認のため「PC 受付」へお立ち寄りください。ただし、事前にいただいているデータの編集はできません。念のためバックアップデータをご持参ください。

- PC 受付：1F 交流ホール
- 受付時間：9月4日（土）8：30～17：30（翌日のデータも受け付けます）
9月5日（日）8：15～12：30

発表に関するご案内

〈特別講演・ランチョンセミナー・モーニングセミナーのご発表者の方へ〉

1. 発表データはUSBメモリかCD-Rを持参してください。
2. ファイルは、PowerPoint 2010～2019（2016）のバージョンで作成してください。
また文字化けやレイアウトのずれを防止するために、下記フォントを推奨いたします。
推奨フォント：Windows 版 MS 明朝／MS ゴシック／Times New Roman／Century
3. 解像度をHD（16：9の比率）にあわせてレイアウトの確認をしてください。
※従来のXGA1024×768（4：3の比率）の解像度も投影は可能です。
4. 保存時のデータファイル名は「演題番号_演者氏名」としてください。
5. Macintosh をご使用の場合は、必ずご自身のPC本体をお持ち込みください。
また専用の交換コネクタおよび、ACアダプターを必ずご持参ください。
6. 進行を円滑に進めるために、PowerPointの発表者ツールのご使用はご遠慮ください。
7. 必ず事前にウイルスチェックを行ってください。
8. 発表は、演台上にセットされておりますモニター、キーボード、マウスを使用し、発表者ご自身で操作してください。
9. 発表データは学会終了後、事務局が責任を持って消去いたします。

〈一般口演の発表者の方へ〉

ご登壇後、事前にお送りいただいている音声入りの発表データをPCオペレーターの操作で放映いたします。発表当日の流れについては、改めてご案内いたします。

演者の方へ（当日リモート〔WEB 参加〕にて発表される場合）

WEB 参加の演者の先生は、今回 Zoom ウェビナーをご使用いただきます。

発表方法

〈特別講演・ランチョンセミナー・モーニングセミナー〉

ご自身で発表スライドを画面共有いただき、ご発表ください。

〈一般口演〉

事前にお送りいただいている音声入りの発表データを PC オペレーターの操作で放映いたします。

質疑応答の時間になりましたら、カメラとマイク機能をオンにして、質疑応答を行ってください。

※発表当日の流れについては、改めてご案内いたします。

Zoom ウェビナーでの注意点

1. インターネット環境をご準備ください。有線・無線は問いませんが、上り・下りともに 10Mbps 以上のスピード（帯域）を推奨いたします。
また、インターネットは時間帯や周辺地域の回線使用状況により通信速度が変化します。
ご発表に近い時間にチェック頂けると、より本番に近い状況が再現できます。やむを得ず不特定多数の方がご利用される Wi-Fi アクセスポイントやポータブルルーターによりアクセスをされますと、通信速度が遅くなることがございます。音・映像の途切れの原因となりますので、可能であれば安定した有線 LAN による接続をお願いいたします。
2. カメラとマイク & スピーカー付きの PC（Win・Mac）をご準備ください。イヤホン付きマイクをご準備頂けると周りの雑音に影響されず、聴講者に聞きやすい安定した音声発表ができます。
PC は最新の OS を推奨いたします。また、Zoom 起動時にバージョンアップのポップアップが立ち上がりましたら、ナビゲーションに従い最新版へのアップデートをお願いいたします。
3. Zoom のインストールにつきましては、別途ご案内します Zoom インストールマニュアルをご確認ください。
4. 本番用 URL は会期の約一週間前に運営よりメールにてお送りいたします。
本番は送られてきた URL よりご入室頂き、本番前のチェックと打ち合わせ終了後ご発表頂く形になります。

本番中のトラブルについて

〔音声や映像が発表中もしくは待機中に繋がらない場合〕

1. 発表順番の入れ替えを行います。
2. ディレクター（オペレーター）との電話連絡により復帰作業を行います。

日本眼腫瘍学会役員一覧

役職別 50 音順 (2020 年 4 月現在)

名誉会員 (敬称略)
猪俣 孟
上野 脩幸
大西 克尚
沖坂 重邦
金子 明博
玉井 信
松尾 信彦
箕田 健生
物故会員
加藤桂一郎
雨宮 次生

役 職	氏 名	所 属
理 事 長	古田 実	東京女子医科大学八千代医療センター／ 福島県立医科大学
理 事	安積 淳	神戸海星病院
理 事	上田 幸典	聖隷浜松病院
理 事	臼井 嘉彦	東京医科大学
理 事	江口 功一	江口眼科医院／新潟大学
理 事 (監 事)	大島 浩一	国立病院機構岡山医療センター
理 事	大湊 絢	新潟大学
理 事 (学術・広報)	小幡 博人	埼玉医科大学総合医療センター
理 事	加瀬 諭	北海道大学
理 事 (監 事)	兒玉 達夫	島根大学
理 事	後藤 浩	東京医科大学
理 事	敷島 敬悟	東京慈恵会医科大学
理 事 (学術・広報)	鈴木 茂伸	国立がん研究センター中央病院
理 事	高橋 寛二	関西医科大学
理 事	高比良雅之	金沢大学
理 事	高村 浩	公立置賜総合病院／山形大学
理 事	田邊 美香	九州大学
理 事	辻 英貴	がん研究会有明病院
理 事	林 暢紹	須崎くろしお病院／高知大学
理 事	溝田 淳	帝京大学
理 事	柚木 達也	富山大学
理 事	吉川 洋	宗像眼科クリニック／九州大学
理 事	渡辺 彰英	京都府立医科大学
顧 問	中村 泰久	愛知医科大学
顧 問	八子 恵子	北福島医療センター
顧 問	小島 孚允	小島眼科医院／さいたま赤十字病院
顧 問	嘉島 信忠	大浜第一病院／聖隷浜松病院

学会の歴史

日本眼腫瘍学会は昭和58(1983)年に研究会として発足し、年一回の学術大会を重ねながら、東日本大震災のあった平成23(2011)年の福島大会からは学会に改組されました。

回	会 期	会 場	会 長
第 1 回	1983年(S58)6月10日	富山医科薬科大学病院	中村 泰久 富山医科薬科大学
第 2 回	1984年(S59)10月20日	京大会館	雨宮 次生 京都大学
第 3 回	1985年(S60)9月7日	九大同窓会館	猪俣 孟 九州大学
第 4 回	1986年(S61)8月16日	順大有山記念講堂	沖坂 重邦 防衛医科大学
第 5 回	1987年(S62)9月20日	福島グリーンパレス	加藤桂一郎 福島県立医科大学
第 6 回	1988年(S63)9月4日	国際研究交流会館	金子 明博 国立がんセンター
第 7 回	1989年(H1)11月18日	岡大医学部図書館	松尾 信彦 岡山大学
第 8 回	1990年(H2)7月27日	仙台市民会館	玉井 信 東北大学
第 9 回	1991年(H3)8月2日	北大学術交流会館	松田 英彦 北海道大学
第10回	1992年(H4)6月20日	幕張メッセ国際会議場	箕田 健生 帝京大学市原
第11回	1993年(H5)10月6日	長崎大学医学部記念講堂	雨宮 次生 長崎大学
第12回	1994年(H6)9月26日	九大同窓会館	猪俣 孟 九州大学
第13回	1995年(H7)8月10～11日	高知県教育会館	上野 脩幸 高知医科大学
第14回	1996年(H8)10月5日	興和ビル大ホール	沖坂 重邦 防衛医科大学
第15回	1997年(H9)10月25日	裏磐梯猫魔ホテル	加藤桂一郎 福島県立医科大学
第16回	1998年(H10)9月5日	国際研究交流会館	金子 明博 国立がんセンター
第17回	1999年(H11)9月25日	大宮ソニックシティホール	小島 孚允 大宮赤十字病院
第18回	2000年(H12)6月23日	仙台市民会館	玉井 信 東北大学
第19回	2001年(H13)9月1～2日	ホテルコンコルド浜松	中村 泰久 聖隷浜松病院
第20回	2002年(H14)9月14日	和歌山県立医科大学病院	大西 克尚 和歌山県立医科大学
第21回	2003年(H15)10月9日	岡山コンベンションセンター	大島 浩一 岡山医療センター
第22回	2004年(H16)7月17日	高知市文化プラザ	上野 脩幸 高知大学
第23回	2005年(H17)6月25日	新潟県医師会館大講堂	江口 功一 新潟大学
第24回	2006年(H18)7月28日	札幌医科大学記念ホール	大塚 賢二 札幌医科大学
第25回	2007年(H19)9月29日	大阪赤十字病院 4F 講堂	柏井 聡 大阪赤十字病院
第26回	2008年(H20)11月22日	東京医科大学 6階臨床講堂	後藤 浩 東京医科大学
第27回	2009年(H21)6月20日	山形大学医学部同窓会館	高村 浩 山形大学
第28回	2010年(H22)9月25日	アクトシティ浜松コングレスセンター	嘉島 信忠 聖隷浜松病院
第29回	2011年(H23)6月25～26日	コラッセふくしま	古田 実 福島県立医科大学
第30回	2012年(H24)6月30日～7月1日	栃木県総合文化センター	小幡 博人 自治医科大学
第31回	2013年(H25)9月14～15日	高知市総合あんしんセンター	林 暢紹 須崎くろしお病院／高知大学
第32回	2014年(H26)7月11～12日	静岡県浜松市プレスタワー 静岡新聞ホール	辻 英貴 がん研有明病院
第33回	2015年(H27)10月3～4日	くにびきメッセ	兒玉 達夫 島根大学
第34回	2016年(H28)10月1～2日	シマブンビル	安積 淳 神戸海星病院
第35回	2017年(H29)9月23～24日	両国 KFC ホール	溝田 淳 帝京大学
第36回	2018年(H30)11月3～4日	金沢市アートホール	高比良雅之 金沢大学
第37回	2019年(R1)9月28～29日	東京慈恵会医科大学 西新橋キャンパス 2号館講堂	敷島 敬悟 東京慈恵会医科大学
	2020年(R2)9月26～27日	COVID-19のため中止 1年延期	
第38回	2021年(R3)9月4～5日	九州大学医学部百年講堂	吉川 洋 九州大学

日本眼腫瘍学会会則 Japanese Society of Ocular Oncology (JSOO)

第1章 総則

(名 称)

第1条 本会は日本眼腫瘍学会 (Japanese Society of Ocular Oncology, JSOO) と称する。

(事務局)

第2条 スタッフルームタケムラ有限会社内に置く。

第2章 目的および事業

(目 的)

第3条 本会は眼腫瘍に関する最新の情報交換と会員相互の研鑽を目的とする。

(事 業)

第4条 本会は前条の目的を達成するため次の事業を行なう。
(1) 総会の開催
(2) 会誌の発行
(3) その他、本会の目的を達成するために必要な事業

第3章 会員

(種 別)

第5条 本会の会員は、眼腫瘍に興味を持つ眼科医 (研修医を含む) およびその他の関係者をもって構成する。
(1) 正会員
(2) 名誉会員
(3) 賛助会員

(入 会)

第6条 (1) 新規入会
所定の入会申込書に年会費を添えて本会事務局に提出し、理事会の承認を得なければならない。
(2) 再入会
資格喪失者が再び入会を希望する場合、過去の日本眼腫瘍学会員期間の年次会費の未納分があれば完納した上で、(1) 新規入会手続きを行なう事ができる。

第7条 正会員は眼腫瘍の研究または診療に従事している者で、第6条の手続きを完了し、日本眼腫瘍学会員期間の年次会費を完納した者とする。

第8条 名誉会員は、眼腫瘍研究の発展に特に功績のあった者で、理事会が推薦し、決定する。

第9条 賛助会員は、本会の事業を奨助するため所定の賛助会費を納入する団体および個人とする。

(入会員および会費)

第10条 正会員の年会費は5,000円とする。なお、賛助会員の年会費は50,000円とする。

第11条 名誉会員は年会費を免除する。

(資格の喪失)

第12条 会員が次の各号に該当した場合は、その資格を喪失するものとする。

- (1) 退会したとき
- (2) 理事会の議決によって除名されたとき

(退 会)

第13条 会員が退会する場合には、事前にその旨を本会事務局に届け出なければならない。

(除 名)

第14条 会員が次の各号に該当するときは、理事会の議決により退会させることがある。
(1) 本会会員として著しく品位を欠く行為があったとき
(2) 会費を3年以上滞納したとき

第4章 役員

(役 員)

第15条 本会に正会員の中から次の役員をおく。
(1) 理 事 長 1名
(2) 理 事 若干名
(3) 監事担当理事 2名
(4) 学術・広報担当理事 2名
(5) 総 会 長 1名
(6) 顧 問 若干名

(理 事)

第16条 理事は理事会を構成し、会の運営に必要な諸事項を審議決定する。

第17条 理事長は理事の互選によって選出される。理事長は本会を代表し、会務を掌握し、理事会を招集する。理事長は収支予算および決算、役員人事など主な会務について、総会もしくはその他の方法により、会員に報告しなければならない。

(監事担当理事)

第18条 監事担当理事は理事会で理事の中から選出される。監事担当理事は本会の財産、会計および会務の執行を監査し、理事会において意見を述べることができる。

(学術・広報担当理事)

第19条 学術・広報担当理事は理事会で理事の中から選出される。学術・広報担当理事は会誌の発行、投稿論文の査読、広報業務などを行う。

(総会長)

第20条 総会長は理事会で選出される。総会長は当該年度の総会運営に当たる。

(顧問)

第21条 顧問は、眼腫瘍研究の発展に特に功績のあった者で、理事会が推薦し、決定する。
顧問は、本学会の運営が適正に行われるよう理事会等において指導する立場にある。

(役員の任期と欠員について)

第22条 理事長、理事、監事担当理事、学術・広報担当理事の任期は3年間とする。
ただし、理事長の連続任期は6年間までとする。理事、監事担当理事、学術・広報担当理事は再任を妨げない。
理事の年齢は65歳を超えないこととする。
役員に欠員が生じた場合の補充とその方法については、理事会でこれを決定する。
総会長の任期は担当する総会が終了するまでとし、次年度総会長にその職務を引き継ぐものとする。
総会長は連続して就任することはできない。
ただし、再任を妨げない。

第5章 総会・理事会

(総会)

第23条 原則として総会を毎年1回開催する。開催時期は理事会と総会長の合議で決定する。
総会での筆頭演者は本学会員でなければならない。
総会長は会員以外の者を総会に招請し、総会で発表させることができる。

(理事会)

第24条 理事会は理事をもって組織し、原則として総会期間中に以下の事項を審議する。
なお、理事会には理事長、総会長の承認を経て、関係者の参加を許可することがある。
(1) 毎年度の事業および会計
(2) その他、理事会が必要と認めた事項
(3) 理事会は理事の3分の2以上の出席をもって成立する。
ただし、予め委任状を提出した者は出席者とみなす。
(4) 理事会の審議は出席理事の過半数をもって決し、可否同数のときは理事長の決するところによる。
(5) 臨時に審議する必要がある事項に関して、理事長は全理事に持ち回り審議を依頼し、上記(3)(4)の決定方法に準拠して決する。

第6章 会計

(会計年度)

第25条 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終了とする。

(事務局の経費)

第26条 本会の事務局の運営に要する経費は年会費をもってこれに充てる。

(総会の運営費)

第27条 総会の運営費は総会の都度、参加費などを徴収してこれに充てる。
参加費の額は年度毎に総会長が決定する。
会員以外の講演者を総会に招請した場合、総会長もしくは理事会の裁量により、参加費を免除することがある。

(事業計画書および収支予算書の作成)

第28条 事業の円滑な運営のため、理事長は事業計画書および収支予算書を毎会計年度開始前に作成し、理事会の承認を得て確定する。

(予備費の計上と使用)

第29条 予算年度内に生じる予測しがたい支出に対応するため、予算規模に見合った予備費を計上する。
第30条 予備費の使用に当たっては、使用理由と金額、および積算の根拠を明らかにした上で、理事長と理事会の承認が必要である。

第7章 会則の変更

(会則の変更)

第31条 この会則は理事会の議決を経て変更することができる。

[附 則]

この会則は平成22年10月10日から施行する。

変更履歴

平成26年7月11日	理事長変更による事務局の変更
平成29年9月23日	理事長変更による事務局の変更
平成30年11月3日	理事会の持ち回り審議と収支予算書と予備費の計上の新設
平成30年11月14日	理事および顧問の定義の明文化
令和元年9月30日	事務局移転による変更
令和2年7月8日	理事長任期の変更
令和2年11月5日	会員資格と再入会手続きの明文化
令和3年4月1日	事務局移転による変更

最終変更日：令和3(2021)年4月1日

日 程 表

1日目 9月4日(土)

九州大学医学部百年講堂 /
WEB 配信

8:30	
9:00	
9:25～	開 会 式
9:40～10:55	一般口演 1 O1-1～O1-6 〔結膜悪性黒色腫〕 座長：加瀬 諭(北海道大学) 田邊 美香(九州大学)
11:00	11:00～12:00 一般口演 2 O2-1～O2-5 〔結膜腫瘍と眼瞼腫瘍〕 座長：小幡 博人(埼玉医科大学 総合医療センター) 兒玉 達夫(島根大学)
12:00	12:10～13:05 ランチョンセミナー 1 次世代の診断と治療への橋渡し研究最前線 座長：川野 庸一(福岡歯科大学) 後藤 浩(東京医科大学) 演者：川野 庸一(福岡歯科大学) 森重 直行(大島眼科病院) 黒田 雅彦(東京医科大学) 共催：ノバルティス ファーマ株式会社
13:00	13:10～13:25 総 会
13:30～14:30	一般口演 3 O3-1～O3-5 〔各種治療〕 座長：鈴木 茂伸(国立がん研究センター 中央病院) 溝田 淳(帝京大学)
14:00	14:40～15:35 特別講演 小児の眼腫瘍 座長：吉川 洋(九州大学) 演者：古賀 友紀(九州大学 小児科)
15:00	15:45～16:45 一般口演 4 O4-1～O4-5 〔眼窩リンパ増殖性疾患〕 座長：安積 淳(神戸海星病院) 高比良 雅之(金沢大学)
16:00	16:55～17:55 一般口演 5 O5-1～O5-5 〔間葉系腫瘍〕 座長：上田 幸典(聖隷浜松病院) 敷島 敬悟(東京慈恵会医科大学)
17:00	
18:00	

2日目 9月5日(日)

九州大学医学部百年講堂 /
WEB 配信

8:30	8:40～9:20 モーニングセミナー PCNSL 治療の新たな選択肢チラブルチニブについて 座長：園田 康平(九州大学) 演者：荒川 芳輝(京都大学 脳神経外科) 共催：小野薬品工業株式会社
9:00	9:25～10:15 一般口演 6 O6-1～O6-4 〔マイボーム腺癌〕 座長：臼井 嘉彦(東京医科大学) 渡辺 彰英(京都府立医科大学)
10:00	10:20～11:10 一般口演 7 O7-1～O7-4 〔珍症例難症例〕 座長：大島 浩一(岡山医療センター) 大湊 絢(新潟大学)
11:00	11:20～12:10 一般口演 8 O8-1～O8-4 〔眼内腫瘍と視神経腫瘍〕 座長：高橋 寛二(関西医科大学) 古田 実(東京女子医科大学 八千代医療センター / 福島県立医科大学)
12:00	12:20～13:10 ランチョンセミナー 2 AI と医療の邂逅 ～データサイエンスの“今”に迫る～ 座長：秋山 雅人(九州大学) 演者：瀬々 潤(株式会社ヒューマノーム研究所) 猪俣 武範(順天堂大学) 共催：参天製薬株式会社
13:00	13:10～ 優秀演題表彰式・閉会式・次期会長挨拶
14:00	
15:00	
16:00	
17:00	
18:00	

プログラム

第1日目 2021年9月4日(土)

開会式 9:25～

一般口演1 9:40～10:55

[結膜悪性黒色腫]

座長：加瀬 諭(北海道大学)
田邊 美香(九州大学)

O1-1 結膜悪性黒色性腫に対し、羊膜移植を施行した1例

○前原 紘基¹⁾、田中 啓一郎¹⁾、古田 実²⁾、石龍 鉄樹¹⁾
1)福島県医大、2)女子医大・八千代

O1-2 Nivolumab と IFN- β で色素脱失をきたした眼瞼結膜悪性黒色腫の1例

○杉原 一暢¹⁾、児玉 達夫²⁾、大田 征孝³⁾、谷戸 正樹¹⁾
1)島根大、2)島根大・先端がん治療センター、3)島根大・皮膚科

O1-3 再発・転移をきたした涙嚢原発悪性黒色腫の1例

○篠原 大輔¹⁾、市原 巧介¹⁾、脇 裕磨²⁾、延山 嘉真²⁾、敷島 敬悟¹⁾
1)慈恵医大、2)慈恵医大 皮膚科

O1-4 結膜悪性黒色腫における FISH 法による3番染色体の解析

○白井 嘉彦、坪田 欣也、馬詰 和比古、後藤 浩
東京医大

O1-5 結膜悪性黒色腫の臨床像と予後の検討

○田邊 美香、船津 治彦、秋山 雅人、藤井 裕也、関 瑛子、山名 佳奈子、吉川 洋、
園田 康平
九州大

O1-6 結膜悪性黒色腫の臨床像と治療成績

○田中 啓一郎¹⁾、前原 紘基¹⁾、古田 実²⁾、石龍 鉄樹¹⁾
1)福島県医大、2)女子医大・八千代

一般口演2 11:00～12:00

[結膜腫瘍と眼瞼腫瘍]

座長：小幡 博人(埼玉医科大学総合医療センター)
児玉 達夫(島根大学)

O2-1 上眼瞼にメルケル細胞癌を認めた1例

○竹内 正興¹⁾、盛 秀嗣¹⁾、高橋 寛二¹⁾、石田 光明²⁾
1)関西医大、2)関西医大 臨床病理

O2-2 眼瞼腫瘍再建における残余瞼板に対する cryotherapy と遊離瞼板移植の有用性と安全性

○柚木 達也、林 篤志
富山大

O2-3 遊離瞼板結膜片移植後の内反防止のための advanced orbital fat flap による 上眼瞼延長術

○尾山 徳秀¹⁾²⁾³⁾、張 大行³⁾、大湊 絢³⁾、塩崎 直哉²⁾、江口 功一⁴⁾、福地 健郎³⁾

1) うおぬま眼科、2) 長岡日赤、3) 新潟大、4) 江口眼科

O2-4 結膜扁平上皮癌における制御性 T 細胞をはじめとする腫瘍免疫の関連

○田上 瑞記¹⁾、梯 アンナ³⁾、坂井 淳¹⁾、三澤 宣彦¹⁾、吉川 敦子²⁾、鰐淵 英機³⁾、
安積 淳²⁾、本田 茂¹⁾

1) 大阪市大、2) 神戸海星、3) 大阪市大 分子病理

O2-5 眼瞼結膜悪性腫瘍の癌種横断的遺伝子発現解析および融合遺伝子の検索

○左野 裕介¹⁾²⁾、秋山 雅人¹⁾、藤井 裕也¹⁾、関 瑛子¹⁾、山名 佳奈子¹⁾、吉川 洋¹⁾、
田邊 美香¹⁾、藤本 明洋²⁾、園田 康平¹⁾

1) 九州大、2) 東京大 人類遺伝学

ランチョンセミナー1 12:10～13:05

共催：ノバルティス ファーマ株式会社

座長：川野 庸一（福岡歯科大学 総合医学講座眼科学分野 教授）

後藤 浩（東京医科大学 臨床医学系眼科学分野 主任教授）

[次世代の診断と治療への橋渡し研究最前線]

1 加齢黄斑変性治療の変遷

川野 庸一 福岡歯科大学 総合医学講座眼科学分野 教授

2 角膜疾患眼における角膜実質コラーゲンの立体構造解析

森重 直行 大島眼科病院 眼科部長

3 腫瘍形態学におけるAIの応用

黒田 雅彦 東京医科大学 分子病理学分野 主任教授

総 会 13:10～13:25

〔 各種治療 〕

座長：鈴木 茂伸（国立がん研究センター中央病院）
溝田 淳（帝京大学）

03-1 眼窩内巨大血管奇形に対して術前 NBCA 塞栓を併施し摘出を行った1例

○小島 康孝¹⁾、上田 幸典¹⁾、林 正孝²⁾、熊切 将宜¹⁾、伊勢 重之¹⁾、嘉島 信忠¹⁾³⁾

1) 聖隷浜松病院、2) 聖隷浜松病院 脳神経外科、3) 大浜第一病院 眼形成眼窩外科

03-2 脈絡膜悪性黒色腫の治療法および予後の検討

○藤井 裕也、田邊 美香、秋山 雅人、船津 治彦、関 瑛子、吉川 洋、園田 康平
九州大

03-3 炭素イオン線照射後に腫瘍再発が疑われた強膜壊死の1例

○伊藤 英理奈¹⁾、川嶋 真¹⁾、溝田 淳¹⁾、若月 優²⁾

1) 帝京大、2) QST 病院

03-4 眼科領域悪性腫瘍に対する炭素イオン線治療の初期経験

○戸山 真吾、末藤 大明、松延 亮、寺嶋 広太郎、福西 かおり、塩山 善之
九州国際重粒子線がん治療センター 放射線科

03-5 視神経膠腫に対する治療：生命予後と機能予後 (Extended Report)

○柳澤 隆昭¹⁾³⁾、本多 隆也²⁾、山岡 正慶²⁾、秋山 政晴²⁾、廣津 竜也¹⁾、増本 愛¹⁾、
野中 雄一郎¹⁾、鈴木 智成³⁾、敷島 敬悟⁴⁾

1) 東京慈恵医大・脳外科、2) 東京慈恵医大・小児科、3) 埼玉医大国際医療センター・脳脊髄腫瘍科、
4) 東京慈恵医大

座長：吉川 洋（九州大学大学院 医学研究院眼科学分野）

〔 小児の眼腫瘍 〕

古賀 友紀 九州大学大学院医学研究院 周産期・小児医療学講座／九州大学病院 小児科

〔 眼窩リンパ増殖性疾患 〕

座長：安積 淳（神戸海星病院）
高比良雅之（金沢大学）

04-1 両眼窩に病変を生じた Erdheim-Chester 病の1例

○大湊 絢¹⁾、張 大行¹⁾、福地 健郎¹⁾、片桐 隆幸²⁾、河本 啓介²⁾、瀧澤 淳²⁾、
谷 優佑³⁾、梅津 哉³⁾

1) 新潟大、2) 新潟大 血液・内分泌・代謝内科、3) 新潟大 病理部

O4-2 両側性の眼窩神経と涙腺腫大を呈した CLL/SLL の1例

○児玉 達夫¹⁾²⁾、杉原 一暢²⁾、谷戸 正樹²⁾、菅 里加³⁾、長瀬 真実子³⁾

1) 島根大・先端がん治療センター、2) 島根大、3) 島根大・病理部

O4-3 眼付属器濾胞性リンパ腫8例のフローサイトメトリー解析による臨床病理学的特徴

○三田村 瑞穂¹⁾、加瀬 諭¹⁾、鈴木 康夫²⁾、坂口 貴鋭²⁾、水門 由佳¹⁾、加瀬 学²⁾、石田 晋¹⁾

1) 北海道大、2) 手稲溪仁会病院

O4-4 メタボロミクスを用いた眼窩リンパ増殖性疾患に対する代謝物の解析

○清水 広之¹⁾²⁾、臼井 嘉彦¹⁾、脇田 遼¹⁾²⁾、朝蔭 正樹¹⁾、瀬津 直也¹⁾、坪田 欣也¹⁾、山川 直之¹⁾、杉本 昌弘²⁾、後藤 浩¹⁾

1) 東京医大、2) 東京医大・低侵襲医療開発総合センター

O4-5 IgG4関連眼疾患の診断基準の改定ならびに重症度分類の策定について

○高比良 雅之¹⁾、安積 淳²⁾、臼井 嘉彦³⁾、大島 浩一⁴⁾、小川 葉子⁵⁾、尾山 徳秀⁶⁾、北川 和子⁷⁾、鈴木 茂伸⁸⁾、曾我部 由香⁹⁾、辻 英貴¹⁰⁾、古田 実¹¹⁾、後藤 浩³⁾

1) 金沢大、2) 神戸海星病院、3) 東京医大、4) 岡山医療センター、5) 慶應大、6) 新潟大、7) 金沢医大、8) 国立がん研究センター、9) 三豊総合病院、10) がん研究有明病院、11) 女子医大・八千代

一般口演5 16:55～17:55

[間葉系腫瘍]

座長：上田 幸典(聖隷浜松病院)

敷島 敬悟(東京慈恵会医科大学)

O5-1 眼瞼に発生した孤発性線維性腫瘍の1例

○柏木 広哉¹⁾、後藤 啓介²⁾

1) 県立静岡がんセンター、2) 県立静岡がんセンター 病理診断科

O5-2 脈絡膜に発生した Solitary fibrous tumor の1例

○河野 良太¹⁾、三島 一晃¹⁾、北岡 隆¹⁾、尹 漢勝²⁾、福岡 順也²⁾

1) 長崎大、2) 長崎大 病理部

O5-3 長期間画像フォローされていた Solitary fibrous tumor (SFT) の1例

○張 大行、大湊 絢、福地 健郎

新潟大

O5-4 眼窩に発生した炎症性筋線維芽細胞性腫瘍の1例

○関 瑛子¹⁾、田邊 美香¹⁾、村上 大輔²⁾、藤井 裕也¹⁾、船津 治彦¹⁾、秋山 雅人¹⁾、吉川 洋¹⁾、山元 英崇³⁾、園田 康平¹⁾

1) 九州大、2) 九州大 耳鼻科、3) 九州大 病理

O5-5 眼窩神経鞘腫30例の臨床所見と術式選択

○米田 亜規子¹⁾、渡辺 彰英¹⁾、中山 知倫¹⁾、上田 幸典²⁾、外園 千恵¹⁾、嘉島 信忠²⁾³⁾

1) 京都府医大、2) 聖隷浜松病院 眼形成眼窩外科、3) 大浜第一病院 眼形成眼窩外科

第2日目 2021年9月5日(日)

モーニングセミナー 8:40～9:20

共催：小野薬品工業株式会社

座長：園田 康平(九州大学大学院医学研究院 眼科学 教授)

〔 PCNSL 治療の新たな選択肢チラブルチニブについて 〕

荒川 芳輝 京都大学大学院医学研究科 脳神経外科 講師

一般口演6 9:25～10:15

〔 マイボーム腺癌 〕

座長：臼井 嘉彦(東京医科大学)

渡辺 彰英(京都府立医科大学)

06-1 末梢神経に沿って浸潤した脂腺癌の1症例

○大島 浩一¹⁾、神農 陽子²⁾、永喜多 敬奈²⁾

1)岡山医療センター、2)岡山医療センター 検査科

06-2 瞼結膜下出血を伴った脂腺癌の2例

○高木 健一¹⁾²⁾³⁾、田邊 美香¹⁾、吉川 洋¹⁾、山名 佳奈子¹⁾、秋山 雅人¹⁾、藤井 裕也¹⁾、
関 瑛子¹⁾、船津 治彦¹⁾、園田 康平¹⁾

1)九州大、2)小倉医療センター、3)高木眼科

06-3 眼瞼脂腺癌症例の臨床的特徴と予後の検討

○奥 拓明¹⁾、渡辺 彰英²⁾、中山 知倫²⁾、米田 亜規子²⁾、熊切 将宜³⁾、上田 幸典³⁾、
外園 千恵²⁾

1)バプテスト眼科クリニック、2)京都府医大、3)聖隷浜松病院

06-4 眼瞼脂腺癌の予後に関するシステムティック・レビュー

○小幡 博人

埼玉医大・総合医療センター

一般口演7 10:20～11:10

〔 珍症例難症例 〕

座長：大島 浩一(岡山医療センター)

大湊 絢(新潟大学)

07-1 外直筋内に生じた皮様嚢腫の1例

○熊切 将宜¹⁾、上田 幸典¹⁾、米田 亜規子³⁾、伊勢 重之¹⁾、小島 康孝¹⁾、嘉島 信忠¹⁾²⁾

1)聖隷浜松病院、2)大浜第一病院、3)京都府医大

07-2 放射線治療が著効した前頭洞原発と考えられる脂腺癌の1例

○中山 知倫、渡辺 彰英、米田 亜規子、外園 千恵

京都府医大

07-3 組織型不明の眼窩内腫瘍の1例

○豊国 秀昭、坂本 麻里、岸本 真耶、江本 美佐、高野 史生、村井 佑輔、長井 隆行、
中村 誠

神戸大

07-4 肺腺癌の脈絡膜転移後に ALK 阻害薬が奏功した症例の長期経過 第2報

○若月 慶¹⁾、馬詰 和比古¹⁾、根本 怜¹⁾、岡野 哲也²⁾、後藤 浩¹⁾

1) 東京医大、2) 東京医大 呼吸器外科

一般口演8 11:20～12:10

[眼内腫瘍と視神経腫瘍]

座長：高橋 寛二（関西医科大学）

古田 実（東京女子医科大学八千代医療センター／福島県立医科大学）

08-1 光覚なしから視力が改善した IgG4 関連視神経症の1例

○山田 祐太朗、高比良 雅之、濱岡 祥子、杉山 和久

金沢大

08-2 原発眼内リンパ腫様の眼底病変を契機に診断に至った血管内リンパ腫の1例

○朝蔭 正樹¹⁾、馬詰 和比古¹⁾、蛸井 浩之²⁾、赤羽 大悟³⁾、後藤 浩¹⁾

1) 東京医大、2) 東京医大 呼吸器内科、3) 東京医大 血液内科

08-3 一般的な採血データを用いた機械学習による眼内リンパ腫の診断の可能性

○坪田 欣也、白井 嘉彦、瀬津 直也、後藤 浩

東京医大

08-4 眼内リンパ腫における硝子体のメタボローム解析

○脇田 遼¹⁾、白井 嘉彦¹⁾、朝蔭 正樹²⁾、清水 広之³⁾、瀬津 直也¹⁾、山川 直之¹⁾、
杉本 昌弘⁴⁾、後藤 浩¹⁾

1) 東京医大、2) 東京医大・八王子、3) 東京医大・茨城、4) 東京医大・低侵襲

ランチョンセミナー2 12:20～13:10

共催：参天製薬株式会社

座長：秋山 雅人（九州大学大学院医学研究院 眼病態イメージング講座 講師）

[AI と医療の邂逅 ～データサイエンスの“今”に迫る～]

1 AIを活用した医療・健康科学への挑戦

瀬々 潤 株式会社ヒューマノーム研究所 代表取締役社長

2 モバイルヘルスアプリで収集したビッグデータの 多階層横断的解析によるドライアイの多様性と不均一性の解明

猪俣 武範 順天堂大学医学部眼科学講座・同デジタル医療講座 准教授

優秀演題表彰式・閉会式・次期会長挨拶 13:10～

[illegible]

特別講演 抄 録

SL

小児の眼腫瘍

古賀 友紀(こが ゆうき)

九州大学大学院医学研究院 周産期・小児医療学講座／九州大学病院 小児科



略 歴

1991年 福岡県立修猷館高等学校 卒業
 1997年 佐賀医科大学医学部 卒業
 九州大学附属病院小児科 研修医
 1999年 福岡市立こども病院
 2000年 国立病院九州がんセンター
 2001年 九州大学大学院生殖発達医学専攻
 2004年 九州大学病院 小児科医員、助教、
 助教講師
 2017年 九州大学地域連携小児医療学講座
 准教授
 2020年～ 九州大学周産期・小児医療学講座
 准教授

日本小児がん研究グループリンパ腫委員
 同ホジキンリンパ腫臨床試験責任医師

日本小児血液がん学会評議員

日本小児がん研究グループ脳腫瘍委員

日本小児血液がん学会組織球症委員

日本小児血液がん学会学術・調査委員

日本血液学会評議員

日本小児科学会小児科専門医、指導医

日本小児血液・がん学会専門医、指導医

日本血液学会専門医、認定指導医

日本造血細胞移植学会移植認定医

日本がん治療認定医機構がん治療認定医

日本緩和医療学会認定医

小児の眼部腫瘍性疾患における初発症状には、眼球局所あるいは周囲に生じた腫瘍による症状と中枢神経病変による神経症状がある。鑑別疾患として、網膜芽細胞腫をはじめとする固形腫瘍だけでなく、白血病、リンパ腫やランゲルハンス細胞組織球症などの血液腫瘍疾患が挙がる。特に乳幼児の場合は症状の覚知が遅れることがあり、慎重なる観察を要する。注意すべき症状は、白色瞳孔、眼球突出・眼瞼腫脹、斜視などであるが、急速進行性、不可逆性の視力低下から腫瘍関連緊急状態に陥ることがある。

1984年以降に当院で経験した網膜芽細胞腫116例(片側性77例、両側性38例、三側性1例)につき解析した。10例(8.6%)に家族歴があった。155眼中、108眼(70%)に眼球摘出術を施行し、片側性4例と両側性5例で両眼温存可能であった。死亡は6例(片側性1例、両側性4例、三側性1例)、二次がん発生は3例(片側性1例、両側性2例)であった。10年全生存率は94.9%、無病生存率は88.5%であり、両側性において、眼球温存目的の局所療法前全身化学療法施行例は、未施行例に比し無病生存率が高かった($p = 0.03$)。両側性網膜芽細胞腫に対する全身化学療法は、二次がんリスクを上げることなく、眼球温存を目指せることを明らかにした。

眼部腫瘍性疾患は頻度が低いが、病態の理解だけではなく症状に応じた鑑別診断と適切でかつ迅速な判断が重要である。初発時より眼科、小児科など多診療科、多職種との連携が求められる。

【利益相反】なし

Handwriting practice lines consisting of 30 horizontal dotted lines.

一 般 口 演 抄 録

01-1

結膜悪性黒色性腫に対し、
羊膜移植を施行した1例

○前原 紘基(まえはら ひろき)¹⁾、田中 啓一郎¹⁾、
古田 実²⁾、石龍 鉄樹¹⁾

1)福島県医大、2)女子医大・八千代

【緒言】結膜悪性黒色腫は本邦では10万人に0.0059人と非常に稀な疾患であり、症例数が少ないために、標準的な治療方針が定まっていない。局所再発率も高く、広範な切除術と眼表面再建術に関する知見も不足している。今回我々は再発性結膜悪性黒色腫に対し、羊膜移植を施行した1例を経験したので文献的考察を含めて報告する。

【症例】46歳男性。右結膜腫瘍のため当科紹介初診した。右眼4時の角膜輪部を中心とした直径5.90mmの乏色素性結膜悪性黒色腫を疑い、腫瘍全切除＋冷凍凝固術を施行し、診断が確定された。PET-MRIでは全身に転移を認めなかった。しかしその後、6ヵ月毎に2回の局所再発を来し、徐々に切除範囲が広がるも、常に切除断端は陰性であった。初回手術から3年後、3回目の局所再発と上方円蓋結膜に飛び石病変を認めた。全身検索で転移はなく、矯正視力は(1.2)あり、半周に及ぶ球結膜切除と羊膜を用いた眼表面再建術を計画した。安全域はShieldsらの報告を参考に2.0mmとり、結膜との癒着の強い部分の強膜は部分的に半層切除し、色素沈着のある結膜を全て除去し、羊膜で覆った。抄録作成時点で術後4ヵ月が経過したが、再発はなく、羊膜の状態も良好である。

【結語】結膜悪性黒色腫は腫瘍より広い範囲の結膜を切除すると再発率を抑えられるという報告がある。また、羊膜移植は広い結膜欠損に対応可能である。結膜悪性黒色腫切除術のオプションとして羊膜移植は有用であると考えられた。

【利益相反】なし

01-2

Nivolumab と IFN- β で
色素脱失をきたした
眼瞼結膜悪性黒色腫の1例

○杉原 一暢(すぎはら かずのぶ)¹⁾、児玉 達夫²⁾、
大田 征孝³⁾、谷戸 正樹¹⁾

1)島根大、2)島根大・先端がん治療センター、
3)島根大・皮膚科

【緒言】眼瞼結膜悪性黒色腫に対し、Nivolumab の全身投与とインターフェロン β (IFN- β) の局所注射を併用したところ、眼局所に色素脱失を来したので報告する。

【症例】54歳男性。1週間前から左眼結膜に黒色腫瘍が出現し、当科を紹介された。左眼涙丘部から下眼瞼結膜にかけて黒褐色の結節性病変が隆起し、下眼瞼は肥厚していた。下眼瞼結膜円蓋部から眼球結膜、上眼瞼結膜面にかけて帯状の色素性病変も見られた。結節性病変を切除し、悪性黒色腫の病理診断を確定した。PET-CT で左眼窩集積以外に明らかな他臓器転移性は無かった。切除不能の悪性黒色腫として術後から10か月間でnivolumab を13回全身投与、IFN- β を上下眼瞼皮下と眼球結膜下に20回局所注射したところ、黒色病変は消失した。同時に眼瞼皮膚と睫毛の色素脱失も顕性化した。術後2年間で再発・転移は見られない。

【考案】免疫チェックポイント阻害剤は、白毛化や夕焼け状眼底といった原田病様の脱色素性病変を来すことが有る。IFN- β も局所注射後に皮膚の脱色素を来したという報告がある。本症例はIFN- β の局所注射部に限局性に脱色素が見られており、メラノサイトに対するIFN- β の免疫応答をnivolumab が増強した可能性がある。

【利益相反】なし

[illegible]

第39回日本眼腫瘍学会のご案内

会 期：2022年（令和4）年9月17日（土）～18日（日）

会 場：国立がん研究センター研究所 大会議室

会 長：鈴木 茂伸（国立がん研究センター中央病院）

第38回日本眼腫瘍学会 プログラム・講演抄録集

会 長：吉川 洋

事 務 局：九州大学大学院医学研究院 眼科学分野
〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1
TEL：092-642-5648 FAX：092-642-5663

運営事務局：株式会社コングレ九州支社内
〒810-0001 福岡市中央区天神1-9-17-11F
TEL：092-716-7116 FAX：092-716-7143
E-mail：js002020@congre.co.jp

出 版：株式会社セカンド
〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025
<https://secand.jp/>